

6 次年度開催県と閉会

青森県産業技術センター水産総合研究所長 菊谷 尚久

青森水総研の菊谷です。

私たちは、通常での開催を目指し準備を進めてきましたが、8・9月のコロナ感染症の感染状況を考慮した結果、誠に残念ではありますが大会初のオンライン開催となりました。結果としては、その後の急激な感染の減少を読み切れませんでした。

オンラインということもあり、参加者は過去最多の96名となり、また記念講演等も見やすかったと思いますが、全国大会はやはり、皆さんが一堂に会し情報交換する場として2日間のフルセットで開催してほしいと考えます。

そういった私からの願いも込めまして、次年度開催県である富山県の田子所長から一言お願いします。

富山県農林水産総合技術センター水産研究所長 田子 泰彦

令和3年度全国水産試験場長会全国大会を、このコロナ禍のなかで開催に尽力していただいた青森県と関係各位に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

令和4年度の全国大会は、富山県が開催県となっており、コロナの状況をみながら、幹事県や各都道府県のご意見を賜り、対面方式とオンライン方式の両面で準備していきたいと考えています。

富山県は3千m級の立山連峰に囲まれ、神通川や庄川、黒部川などの清流が流れる大河川や世界でもっとも美しい湾クラブに加盟している富山湾などがあり、風光明媚なところです。

おいしい米、おいしい魚、おいしいお酒がたくさんありますので、対面開催となった際には、海の幸、川の幸、山の幸などを、みなさんに楽しんでいただければ幸いです。

来年度は、富山県でお待ちしております。